



2024年3月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

2023年8月7日

上場会社名 ウェルネオシュガー株式会社
コード番号 2117 URL <https://www.wellneo-sugar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 大場 健司

TEL 03 - 3668 - 1293

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,517	78.9	1,152	89.8	2,614	288.8	1,876	338.1	1,876	338.1	2,244	314.1
2023年3月期第1四半期	12,588	8.7	607	12.6	672	14.7	428	19.7	428	19.7	542	4.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	57.26	
2023年3月期第1四半期	19.38	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	93,548	69,242	69,242	74.0
2023年3月期	93,572	68,264	68,264	73.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		33.00		37.00	70.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		46.00		46.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	45,000	82.9	2,500	245.0	3,900	393.1	2,900	565.4	2,900	565.4	88.51
通期	90,000	54.2	5,100	217.5	6,800	276.9	5,000	370.6	5,000	370.6	152.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	35,053,483 株	2023年3月期	35,053,483 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,292,530 株	2023年3月期	2,292,530 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	32,760,953 株	2023年3月期1Q	22,095,770 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2023年1月1日付の日新製糖㈱と伊藤忠製糖㈱の経営統合により、商号を「ウエルネオシュガー㈱」に変更し、持株会社体制に移行しました。このため、当連結累計期間の主要な経営指標等の各計数は、前連結累計期間と比較して大幅に変動しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化が進んできた一方で、ウクライナ情勢の影響によるエネルギーコスト高騰や世界的な金融引き締めを背景とした円安等の影響を受け、先行きは不透明な状況です。

当第1四半期連結累計期間の業績は、伊藤忠製糖㈱との経営統合および新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、売上収益は22,517百万円（前年同期比78.9%増）、営業利益は1,152百万円（同89.8%増）となりました。金融収益において、国内の投資先からの受取配当金1,304百万円を計上しました。以上の結果、税引前四半期利益は2,614百万円（同288.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,876百万円（同338.1%増）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。なお、各セグメント利益は全社費用198百万円を含んでいません。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり22.35セントで始まり、主要生産国ブラジルで穀物の輸出増加による物流面での混乱懸念から上昇基調となった他、インドやタイでの干ばつによる減産懸念も広がり、4月下旬には今期高値となる27.41セントまで上昇しました。その後は、ブラジルで生産が順調に進んだこと等から、6月下旬に今期安値となる21.81セントまで下落した後、22.89セントで当第1四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2023年4月3日	22.35	66.10	134.15
高 値	2023年4月27日	27.41	81.41	134.72
安 値	2023年6月29日	21.81	69.89	145.35
終 値	2023年6月30日	22.89	73.67	145.99

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり227円～229円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により外食関係で回復が見られ、製パン、冷菓等の出荷は好調に推移しましたが、各種価格上昇による消費低迷により、出荷量全体では業務用、家庭用ともに減少しました。そのような中、独自製品のきび砂糖の出荷は好調に推移しました。売上収益につきましては、経営統合により伊藤忠製糖グループが新たに加わったこと、およびコスト上昇に対する売価への反映を進めたことにより、増加しました。利益面においては、伊藤忠製糖グループの利益が加わったこと、および有利な原料調達ができただけにより、大幅な増益となりました。

ツキオカフィルム製薬㈱につきましては、純金箔事業において新規受注が増加したこと等により増収増益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は21,437百万円（前年同期比86.6%増）、セグメント利益は1,219百万円（同143.5%増）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行によりフィットネスの会員数が緩やかに回復してきていること、および効率的な運営を継続していることから、売上収益は659百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の適正な在庫水準を維持した結果、取扱量が減少しました。売上収益は420百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は111百万円（同5.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は34,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ564百万円減少しました。これは主に棚卸資産が1,926百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が1,852百万円、その他の金融資産が950百万円それぞれ減少したことによるものです。非流動資産は59,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円増加しました。これは主に使用権資産が165百万円、有形固定資産が161百万円それぞれ減少した一方で、持分法で会計処理されている投資が659百万円、その他の金融資産が202百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、資産合計は93,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は19,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ955百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が949百万円減少したことによるものです。非流動負債は5,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が149百万円増加した一方で、リース負債が164百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は24,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,001百万円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は69,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ978百万円増加しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益1,876百万円、税引後その他の包括利益368百万円および配当金の支払による減少1,212百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は74.0%（前連結会計年度末比1.0ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制緩和により、人流の回復など社会・経済活動が正常化へ進む一方で、物価上昇傾向から消費購買意欲の低下が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

砂糖その他食品事業につきましては、精製糖事業において、海外原糖市況およびエネルギーコストの高騰、円安の影響を受け、業界環境は依然として厳しい状況です。当社は、生活必需品である砂糖の安定的な提供により社会的責任を果たしていくなかで、有利な条件での原料調達やコスト上昇に対する売価への反映を進め、採算を重視した経営に努めるとともに、経営統合のシナジー効果を早期に発揮することで、業績の向上を目指してまいります。

その他食品事業におきましては、2023年6月1日に社長直轄組織として「ネオ機能性素材部」を設置し、オリゴ糖をはじめとする機能性甘味料素材等の販売拡大を目指すとともに、伊藤忠製糖㈱が新たに株式を取得したツルヤ化成工業㈱との連携を図ってまいります。

健康産業事業におきましては、新型コロナウイルスの感染症上の分類が5類に移行したことにより、会員数には回復の兆しが見え始めております。競合サービスの台頭など多様化が進み、経営環境は引き続き厳しい状況にあるなか、新常态の店舗運営体制において安全・安心かつ需要に対する最適なサービスの提供とコスト削減に努め、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業では、冷蔵倉庫・港湾運送ともに引き続き在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上の結果、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は2023年5月26日開催の取締役会において、2024年10月1日（予定）に、当社を存続会社として、当社の100%子会社である日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱を吸収合併（以下「本合併」といいます。）することを基本方針に、今後必要な手続きを開始することを決議いたしました。本合併に向けた必要な手続きの進捗に応じて、公表すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,263	9,411
営業債権及びその他の債権	7,446	7,564
その他の金融資産	1,025	74
棚卸資産	14,614	16,541
その他の流動資産	633	826
流動資産合計	34,983	34,419
非流動資産		
有形固定資産	18,403	18,242
使用権資産	2,785	2,619
のれん	14,280	14,280
無形資産	411	434
持分法で会計処理されている投資	14,112	14,772
その他の金融資産	6,627	6,830
退職給付に係る資産	366	355
繰延税金資産	144	138
営業債権及びその他の債権	10	11
その他の非流動資産	1,446	1,444
非流動資産合計	58,588	59,129
資産合計	93,572	93,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	9,000	9,000
営業債務及びその他の債務	6,789	5,839
リース負債	890	846
その他の金融負債	516	272
未払法人所得税等	406	466
引当金	20	20
その他の流動負債	2,404	2,627
流動負債合計	20,028	19,072
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,718	2,554
その他の金融負債	101	99
退職給付に係る負債	327	298
引当金	507	508
繰延税金負債	1,565	1,714
その他の非流動負債	58	58
非流動負債合計	5,279	5,233
負債合計	25,308	24,306
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	34,687	34,690
自己株式	△3,534	△3,534
その他の資本の構成要素	1,546	1,858
利益剰余金	28,563	29,227
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,264	69,242
資本合計	68,264	69,242
負債及び資本合計	93,572	93,548

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	12,588	22,517
売上原価	10,338	18,817
売上総利益	2,249	3,700
販売費及び一般管理費	1,642	2,552
その他の収益	2	21
その他の費用	3	16
営業利益	607	1,152
金融収益	56	1,355
金融費用	20	26
持分法による投資利益	29	133
税引前四半期利益	672	2,614
法人所得税費用	244	738
四半期利益	428	1,876
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	428	1,876
非支配持分	—	—
四半期利益	428	1,876
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	19.38	57.26

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	428	1,876
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	12	141
純損益に振り替えられることのない 項目合計	12	141
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	101	227
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	101	227
税引後その他の包括利益	113	368
四半期包括利益	542	2,244
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	542	2,244
非支配持分	—	—
四半期包括利益	542	2,244

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日時点の残高	7,000	11,614	△292	35	1,453
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	101	12
四半期包括利益合計	—	—	—	101	12
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	0
非金融資産への振替	—	—	—	△128	—
所有者との取引額合計	—	3	—	△128	0
2022年6月30日時点の残高	7,000	11,618	△292	8	1,466

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	1,488	29,093	48,904	48,904
四半期利益	—	—	428	428	428
その他の包括利益	—	113	—	113	113
四半期包括利益合計	—	113	428	542	542
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△751	△751	△751
株式報酬取引	—	—	—	3	3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	0	△0	—	—
非金融資産への振替	—	△128	—	△128	△128
所有者との取引額合計	—	△128	△751	△875	△875
2022年6月30日時点の残高	—	1,474	28,770	48,570	48,570

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日時点の残高	7,000	34,687	△3,534	△12	1,559
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	227	141
四半期包括利益合計	—	—	—	227	141
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	2	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△57	—
所有者との取引額合計	—	2	—	△57	—
2023年6月30日時点の残高	7,000	34,690	△3,534	157	1,700

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2023年4月1日時点の残高	—	1,546	28,563	68,264	68,264
四半期利益	—	—	1,876	1,876	1,876
その他の包括利益	—	368	—	368	368
四半期包括利益合計	—	368	1,876	2,244	2,244
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△1,212	△1,212	△1,212
株式報酬取引	—	—	—	2	2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	△57	—	△57	△57
所有者との取引額合計	—	△57	△1,212	△1,266	△1,266
2023年6月30日時点の残高	—	1,858	29,227	69,242	69,242

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

I F R S		新設・改訂の概要
I A S 第12号	法人所得税	リースおよび廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。